HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	魔が差すといふ事の社会的意味
Author(s)	芒亭
Citation	各務時報, 60
Issue Date	1932-02-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77692
Type	article
File Information	A010_1060S7229.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

科學の研究

魔がさすと云ふ事の社會的意味

巴　亭

「魔がさす」と云ふ言葉は日本民族が持つて居る最もうるわしい何とも云へぬよい言葉である。私は實際に此の言葉が口にされるのを聞く毎に涙がこぼれる様な氣持ちになる。

分別さかりの中年の男が妻子を忘れて戀にくるつて家出した時、其の妻が子供等と自分自身とを慰める言葉として

「お父さんは魔がさして……」

と云ふ時を考へて見るがよい。妻はどうしても夫に其の罪を歸し得ないのである。人間の不可抗である魔に其の罪を負はす事によつて子供等の前に父の尊信と父自分自身に對する夫の識實を少しでも疑ふ氣持ちの起らない様につとめる妻の思ひやりである。如し氣まり悪るげな顏をして夫が歸つて來た時、妻がそれをせめる事なく如し萬一其の問題が話題になつて夫が何とかとりつくらはうとして居るとき妻が事もなげに

「あなたは魔がさしなすつたんです」

と云つたら、夫はどれ程救はれた氣持ちになるだらう。

「全く魔がさしたんだ」

と相づちをうつ端から夫自身も自分の有意的な行爲をそして一點の許す可き理由もないと自ら恥ぢて居る行爲をいつの間にか「さうだ魔がさしたんだ、どうにもならなかつたんだ」と思ふ様になる。

かくて妻の此の一言により妻は夫の罪悪を忍容する處か憐憫して居る様な氣持ちを表示する事になる、そして夫の時間的に連續する人格的過程の中から其の一節を除去して其の一節に於ける夫は前後の夫の人格には何の關係もないものと見て居ると云ふ氣持を夫に示す事により、以後の夫に對する自分の變らざる態度を豫告する事にもなる。

夫も妻の此の言葉を承認する事により矢張り同じ様な事を妻に約束する事になる。即ち其の罪悪は本質的に自分の人格には關係ないもので、云はゞ其は天災である、過去からつゞいて來た自分の同一の自由意志が爲したのでなくて不可抗な客觀的力がさうさしたのである、だからお互に此の時間的一節は記憶から除いてしまはうではないか、自分の此の後はあの過ちの以前の自分に直接につながるのである、其のつもりで變りなく信じてくれ、と云ふ事を告白する事になるのである。

つまり時間的に繼續する夫の意識的活動の中から此の時間的一節をとり除く事によつてお互に以前と同じ様に安らかに接する事が出來るのである。

こんな場合にかくの如き言葉或ひは約束がなかつたら此の事は之れ丈でおさまらないで何とかつきつめた解決を求むる事となり結局無事におさまる事の出來る場合でもおさまらないで問題が大きくなるであらう。だからかくの如き言葉は例へば社會を圓滑にすべらして行く油の様なものである。だが油さへあればいつでも圓滑にゆくとは勿論限らないので喰ひちがひが度重なつた場合とか、あまり大きい場合には油では用をなさなくなるのも勿論である。だが複雜な人間社會のからくりの中にかくの如き油が有效に其の役をはたす場合が如何に多い事であるか。

近所のおかみさんか何か濟みでもした様な場合に井戸端に集まつて居る女達が色々其の事を批評した後で、

「魔がさしたんですわね」

と云ふ事に集議一致すれば、其は其の濟みしたおかみさんをとがめないで再び自分達の仲間に入れてやるとゝ云ふ事の宣言である。又おかみさんの身内の人達を慰さむる一策としては其れ以上の言葉はあるまい。ゆるしてあげます、前の様につきあつてあげますと云ふ情深い氣持ちが充分にみなぎつて居る。此の言葉が用ひられられた事によつて濟んだおかみさんもやつと顏向けが出來るであらう。

だが勿論「魔がさした」と云つて慰めて居るおかみさん達もどの程度まで自分の眞實の氣持ちをこの言葉によつて云ひあらはして居るかは疑問である。或る者は全く不可抗力な神秘的働きを信じて居るかも知れぬ、又或る者は僞作と云ふ様な程度に於て其を信じて居るかも知れぬ、又或る者は只單にお世辭に挨拶に此の言葉を用ひて居るかも知れぬ。だが挨拶でも充分に油としての役には立つものである。挨拶は儀禮であり、儀禮は總て社會的摩擦を防ぐ油である。

昭和七年二月二十九日
名古屋時報